

東北学院中学校・高等学校だより

LIFE LIGHT LOVE

2025. 3. 31 / vol. 6

東北学院中学校・高等学校
の日々を紹介します。
「LIFE LIGHT LOVE」は
「命・光・愛」を指す本校の
スクールモットーです。



ご卒業おめでとうございます

3月1日（土）に高校生 599 名、3月19日（水）に中学生 189 名の卒業式が行われました。特に高校では午前の部と午後の部に分けての実施となりましたが、無事、厳粛に式を執り行うことができました。男女共学化1期生である中・高それぞれの卒業生計 788 名は自らが選択した進路に向けて、本校での学びを糧に巣立っていきました。

高校卒業式



学業成績優秀者 42 名
3ヶ年皆勤・精勤者 27 名
月浦賞（学院中高6ヶ年皆勤者）9 名
委員功労者 83 名
生徒会活動功労者 36 名
キリスト教青年会功労者 1 名
特別表彰（部活動上位大会入賞者）12 名
日本私立中学高等学校連合会長賞 1 名
奨学会長賞 1 名
郡山英語賞 1 名



中学校卒業式



学業成績優秀者 38 名
3ヶ年皆勤・精勤者 16 名
委員功労者 21 名
生徒会活動功労者 19 名
特別表彰（部活動上位大会入賞者）17 名
日本私立中学高等学校連合会長賞 1 名
奨学会長賞 1 名



今年度ご退職される先生のご紹介

(異動除く、敬称略)

〈専任教員〉

佐藤 徳男 (数学科/情報科)

〈常勤講師〉

高杉由香里 (国語科)、大場 由貴 (国語科)

片岡 彩乃 (国語科)、阿部 朱李 (英語科)

奥田 稜 (英語科)、乾 真緒 (社会科)

折原 悠芽 (体育科)、鈴木 武斗 (体育科)

上村 未来 (体育科)、相澤 恵美 (養護)

3/18(火)終業式後の離任式で

お一人ずつご挨拶をいただきました

ありがとうございました！

リレーエッセイ 3L 日記

中学卒業生 答辞生徒 平岡 華

(塩釜市立第一小学校出身)



私達は共学化後初めての学年として入学し、はじめは、新たな環境や勉強への不安もありましたが、多くの経験を通じて成長することができました。体育祭や修学旅行といった特別な行事はもちろん、何気ない日常のひとときも今となってはかけがえのない思い出です。支えてくださった先生方や家族への感謝を胸に、私たちはこれから高校に進学します。中学校で学んだことを活かしつつ、新しいことにも挑戦し、悔いのない高校生活を送りたいと思います。

高校卒業生 総代(午前の部) 伊藤 琉音

(東北学院中学校出身)



東北学院で過ごした中高6年間はかけがえのない時間でした。特選コースとして勉強に励むだけでなく、様々な行事を通して成長することができたと思います。特に

我々は共学化1期生ということもあり、これまでとは違った部分も多くあったものの、その分新たな刺激も得ることができ、たくさんの思い出を作ることができました。

私が高校生活で良かったと思えることは様々なことに主体的に参加したこと。高校2年生では学院祭でジェットコースターを作成しました。これまでにない規模での企画で成功が不安視されていたものの、無事に大成功することができました。自分から面白そうでワクワクするようなことに積極的に関わることで、中高の生活が一層意味のあるものになった気がします。学院での6年間はあっという間でした。良い友人や先生方に恵まれて、学院での何気ない毎日はとても充実していました。中高の生活は学習や部活動だけでなく、他のことにもチャレンジできる時期だと思います。在校生の皆さんも様々なことにチャレンジして充実した学院生活が送れるように願っております。

高校卒業生 総代(午後の部) 松田 大鷲

(東北学院中学校出身)



3月1日、学院日和のすばらしい日に東北学院を卒業しました。先生方、友人や後輩、家族には感謝の気持ちで一杯です。振り返るとあまり望み通りにはいかない高校生活でした。部活では自信を持って部長を務められず、チームをまとめるのに常に苦労しました。クラスではあまり明るい性格ではなくどちらかといえば隅の方にいました。いつももっと楽しい高校生活がどこかにあるはずだと思っていました。しかし式を終えて家に帰ると言いようのない喪失感を感じました。個性的な先生方、友人との他愛のない会話、学校行事の喧騒、十人十色の仲間たちが居た部活等々、名残惜しいものばかりでした。面白みがないと思っていた3年間の何気ない瞬間がギラギラと輝いて宝物のように感じられました。目の前のことに必死になって食らいつき、多くの人に支えられた3年間は誇りであり、大切な思い出だと今は自信を持って言うことができます。これから私は大学という新たなステージへと進みます。先行き不透明な社会ですが、悲観も楽観もせず冷静に、正しい行いを心がけ、一瞬一瞬を大事にして、目標に向かって生きます。ありがとう、東北学院。

今月の聖句 3月 ヤコブの手紙 4章 10節

主の前にへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高めてくださいます。